

# せんなん里海公園で見かける生き物

## 初夏～夏

### シオカラトンボ

シオカラトンボはオスの個体の胴体部分がまるで塩のような白い粉で覆われてように見えるトンボで、この特徴から「シオカラトンボ」という和名が付けられました。メスはオスとは異なり、胴体が麦わら色をしている為、ムギワラトンボと呼ばれる事もあります。また、未熟なオスは胸部が黄褐色に近い色をしているのでメスと同じようにムギワラトンボと呼ばれる事もあるようです。



### アブラセミ

アブラゼミの大きな特徴としてはその他の多くのセミとは違い、羽が透明ではない事がまずあげられ、アブラゼミの羽は不透明で褐色となっています。また、その鳴き声が油を熱した時に出る「ジリジリ」という音に似ている事から、その名がついたと言われています。



### カブトムシ

幼虫は腐植土。成虫はクヌギ、コナラ、クスノキ、クリの木などにいます。せんなん里海公園のうみべの森で見かけることができます。

